

令和7年10月20日(月)



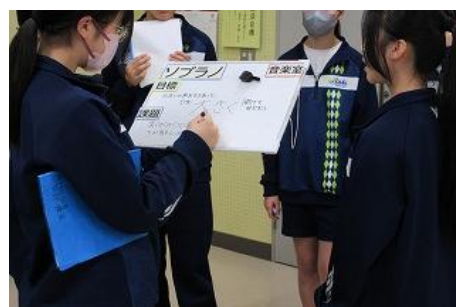
学校教育では、自主性や主体性を重んじています。自主性も主体性も「自ら進んで」という意味で使われる言葉です。この二つの言葉には、やや違いがあります。自主性は、決められていることを自ら進んで行うこと。主体性は、自らやるべきことを決めて進んで取り組むこと。自主性より主体性の方が、より成長している姿ということになります。そのため、本校は授業において、本時の目標（めあて）を確認することや、振り返り（自己評価）をどの教科でも大切にしています。

今日の3年生の体育は、バスケットボールでした。まだ単元が始まったばかりなので、ゴール下45度のシュートやドリブルやパスからのレイアップシュートなど、基本的な練習を行いました。授業の最後には、体育学習のファイル



に自己評価を書き入れます。本時の目標を達成できたかどうかを振り返るとともに、できなかったことは次時に努力すべき課題として明確にします。振り返りシートにいかに関具体的記述ができるかどうかは、学びの深さにつながる大きなポイントです。いくら技能面で優れていても、必ず何かしら課題はあります。そこに気づくことが主体的に学ぶ上で大切なのです。

2年生の音楽の授業は、合唱祭に向けての練習です。ソプラノ、アルト、テノールの各パートリーダーが、ホワイトボードに本時の目標を書き込んでみんなで共有していました。授業全体のめあては、教師が提示していますが、各パートごとの目標はこれまでの課題を踏まえた具体的な内容になっています。練習が終わったあとは、また反省点をホワイトボードに書き入れ、次時の音楽の時間の目標が作られていきます。主体的に学ぶ態度が、学びのよい循環を作り出します。



50周年記念式典・ふれあい西中祭まで10日間あまりになりました。放課後は、有志の生徒による箏の練習です。箏と三味線の講師にご来校いただき、丁寧にご指導いただきました。箏については、昨年までふれあい西中祭の体験教室の1つになっていました。今年は、50周年記念のふれあい西中祭ということで、体験教室ではなく、ステージ発表という形式をとっています。

